

戦 評 用 紙

令和元年度関東高等学校バスケットボール大会
埼玉県予選会

令和元年5月17日

会 場 越谷市立総合体育館

Gコート第3試合

対 戦	草加南 高校	1 2	—	1 8	昌平 高校
	6 4	1 9	—	8	6 0
		1 5	—	2 2	
		1 8	—	1 2	

関東大会代表決定戦。昨年度県優勝し、2連覇を狙う第2シード昌平と関東大会初出場を狙う挑戦者草加南の戦い。

第1Q 両チームハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。昌平は#5を中心にドライブインでゴール下を攻め、#5が3連続得点し、リードする。草加南は#8のドライブイン、スティールからの速攻で食らいつき、5分8-7で昌平のタイムアウト。草加南は#7のドライブインでバスケットカウントを決め、シュートイン後フルコートディフェンスでプレッシャーをかけるが、昌平の#5に連続得点を許し、再び差が開いて終了。18-12昌平リードで1Q終了。

第2Q リードされている草加南だが、シューター#4が2本連続で3Pを決めて同点に追いつく。草加南はフルコートで激しくプレッシャーをかけ続け、昌平のミスを誘う。昌平は#8の1対1、#7のゴール下で繋ぐも得点が伸びない。草加南は#10がゴール下で連続得点し、#8#6が1対1のタフショットを決めきり、31-26草加南リードで前半終了。

第3Q お互い#7同士のインサイドの戦いが激しく、点を取り合う展開となるが、昌平は#8の3Pを皮切りに、#5#7のリバウンドシュート、#14がゴール下で合わせ、同点に追いつく。草加南はこの時間攻めあぐみ、なかなかシュートまで行けずにショットクロックぎりぎりのタフショットとなるが、#6が連続で得点し、なんとか食らいつく。草加南は残り1分でタイムアウトをとるが、昌平#7に押し込まれ、48-46昌平リードで3Q終了。

第4Q 昌平はインサイドの#7と#5を中心にゴール下を攻め、草加南は#6のペネトレイトからの展開で攻め、一進一退の攻防が続く。草加南はフルコートプレスでプレッシャーをかけ続け、積極的にダブルチームを仕掛け、ボールを奪う。ここから草加南は#6#9#4が3Pを立て続けに決め、最後は#7がオフENSリバウンドをねじ込み、4点リードで試合終了。草加南高校は関東大会初出場を決めた。

(記録者： 草加西高校 伊澤 暁)